

# 京都府南部地域豪雨災害から3年を迎えて

## <市長メッセージ>

平成24年8月13日・14日に発生した京都府南部地域豪雨では、河川の氾濫等により、本市におきましては、2名の尊い人命が失われ、家屋の損壊、床上・床下浸水の被害や道路への崩土<sup>ほうど</sup>、山腹の崩壊など、近年にない甚大な被害が発生いたしました。

犠牲になりましたお二方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。

被災当初より、国や京都府、周辺自治体、及び、各関係機関をはじめ、多くのボランティアの皆様のご支援を得て、災害対応にあたることができましたことに、改めまして厚くお礼を申し上げます。

本市では、この災害からの復旧を、市政の最優先課題と位置付け、鋭意取り組んで参りました。

道路、河川等の復旧につきましては、昨年度末で日野川、前川橋、天ヶ瀬森林公園を残し、全て完了する

ことが出来ました。

残る日野川につきましても、来月中の完了に目途がたって参りました。又、志津川の前川橋及び天ヶ瀬森林公園につきましても、今年度中の完了に向けまして現在、工事発注の準備を行っているところでございます。

この災害で経験した多くの貴重な経験を生かし、引き続き「災害に強い安全・安心の宇治づくり」をより一層推進するため、全力をあげ、各種施策に取り組んで参る所存でございます。

さらに、この災害を強く心に刻み、決して風化させることなく、しっかりと後世に伝え続けていくことが、私に課せられた責務であると感じているところであり、今月8日には多くの市民の皆様のご参加のもと、防災講演会を開催いたしました。

また、本日は、宇治久世歯科医師会様、並びに城南薬剤師会様と「災害時における医療救護活動に関する協定」を締結したところでございます。

これにより、既に同様の協定締結を結んでいる宇治久世医師会様とともに、今後、災害時における医科・歯科及び薬剤の3つの分野の連携による救護所の開設・運営が可能となり、本市の地域防災力の向上が一層図られるものと確信いたしております。

本市といたしましては、市民の皆様と協働し、安全と安心のまちづくりのため、引き続き最善を尽くしてまいりたいと考えております。

今後とも、市民の皆さま並びに関係者の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成27年8月14日

宇治市長 山本 正